

2026年6月5日  
東海旅客鉄道労働組合政策部発行



# SUN

Seisaku Union News

## JAPAN-RAILWAY-TOKAI-WORKERS-UNION

### 国土交通省鉄道局への要請・意見交換の実施

#### 合理性ある運賃・料金制度の改定、インフレに伴うコスト増への迅速な対応を求める！

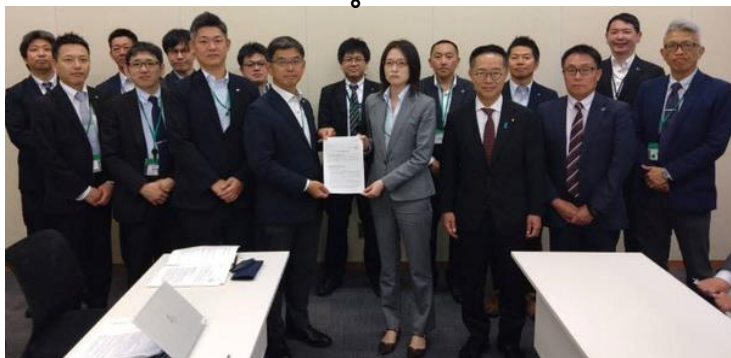
4月20日、JR連合の産業政策委員会メンバーを中心に、国土交通省鉄道局に対する要請行動及び意見交換を実施した。当日は、JR連合「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」所属の古川元久衆議院議員に同席いただき「鉄道をめぐっては、運賃・料金問題をはじめ、課題は非常に多い。鉄道は今や主要産業の観光を支える重要な手段。観光資源にもなっており、持続可能な公共交通の実現に向け、前向きな一歩を積み重ねる機会とした」と挨拶があった。

JR連合羽野敦之産業政策委員長（JR西労組中央執行委員長）は、各種課題の解決に向け議論の深掘りを要請し、鉄道局の三島梨加総務課企画室長は、中東情勢を受け、燃料の安定確保に万全を期していると述べ、喫緊の課題である人財不足や省力化、GX推進など、鉄道行政に関わる諸課題の解決に向けて真摯に取り組むと応えた。

出席した半田産業政策委員（JR東海ユニオン執行副委員長）からは、合理性ある運賃・料金制度の改定、インフレに伴うコスト増への迅速な対応など、直面的な主要課題等について、現場実態を踏まえた要請を行った。

鉄道局の実務担当者からは、課題認識や取り組みの進捗について丁寧な回答が示された。

今後ともJR連合と連携し、掲げる政策の実現に向け引き続き取り組んでいく。



要請書を手交：中央から羽野委員長、総務課企画室長、古川衆議院議員

### JR連合「第15回政策シンポジウム・決起集会」

#### 中央新幹線をはじめとする整備新幹線計画に関する政策課題の前進に向け、決意を共有！

5月19日、JR連合「第15回政策シンポジウム・決起集会」にJR東海連合・JR東海ユニオンからも参画した。本シンポジウムは、「高速鉄道・新幹線ネットワークの構築・計画推進に向けて」と題したテーマで開催され、当日はJR連合国会議員懇談会、「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」所属議員や友誼産別、各エリア連合から参画し、鉄道産業の発展と地域の活性化に資する政策課題の実現に向けて取り組むことを決議した。

第一部のシンポジウムでは、課題提起として、JR連合が取り巻く情勢と課題について説明し、鉄構労より、B/Cの算出方法と課題、とりわけB(利益)に含まれていない指標が多分にあることを解説した。基調講演では、金沢大学の山口裕通准教授より「携帯電話位置情報データからわかる新幹線開業による旅行先価値向上効果」と題し、北陸新幹線金沢開業での旅行先としての価値が向上した効果などが示された。

決起集会では、JR東海ユニオンを代表して半田中央執行副委員長が登壇し、「東海道新幹線、在来線を守り抜き、リニア中央新幹線の実現に向けて全組合員とともに挑み続ける」決意を述べた。JR各単組代表者による決意表明を終えた後、産業政策の実現を通じて組合員とその家族の幸せを実現するため、政策課題の前進に向けて力強く取り組むことを全体で決議し、閉会となった。今後ともJR連合と連携しながら、各種政策課題の実現に向けて、継続して取り組んでいく。



棟葉会長

過去発行のSUNは、TUNAGアプリをチェック



TUNAG



新規登録はこちらへ